

中生品種も刈取適期に入っています！ 圃場の状況を確認し、適期内に刈取りを！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

「はえぬき」「雪若丸」等の中生品種までは刈取適期を迎えていますが、今週は雨の日が多い予報となっています。圃場の排水を促し、晴れ間に作業が可能な状態となった場合は、速やかに刈取り作業に入りましょう。

◎登熟状況

農業総合研究センター水田農業研究所の「はえぬき」（7月28日出穂）の登熟歩合は、9月4日時点で82.8%となっており、登熟はほぼ完了したとみられます（図1）。

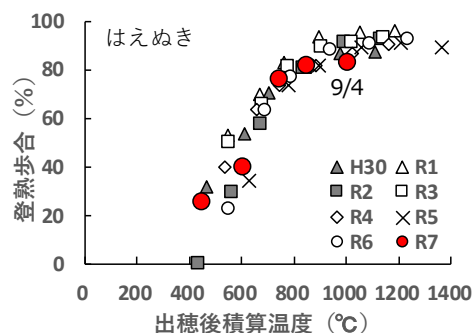


図1 出穂後積算温度と登熟歩合

◎当面の技術対策

■適期刈取りの徹底

すでに収穫した「雪若丸」では、一部で茶米が確認されています（図2）。また、今年はお穂後が高温で経過したため、胴割粒の発生が懸念されます。 籾水分を確認し、適期内に刈取りが終わるように、作業を進めましょう。

表 「はえぬき」「雪若丸」の刈取適期の目安（9月8日時点）

地域（市町名）	はえぬき	雪若丸
村山（山形）	9/3～13	9/1～11
最上（新庄）	9/8～20	9/9～21
置賜（川西）	9/5～15	9/6～16
庄内（酒田）	9/1～11	9/1～11

注1）各地域の生育診断圃の出穂期、メッシュ気象データから算出

注2）刈取適期の目安となる積算気温は「はえぬき」で900～1,150℃、「雪若丸」950～1,200℃（村山、庄内は900～1,150℃）

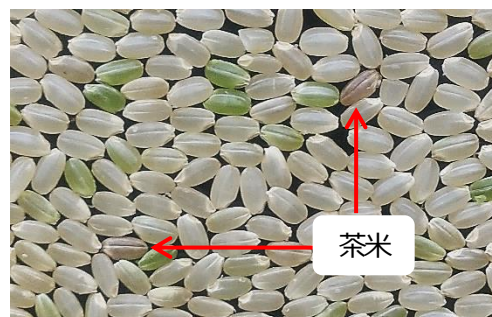


図2 9月2日現在の玄米の状況
「雪若丸」7月30日出穂（積算気温933℃）
青籾歩合25.5%、籾水分26.4%

「刈取作業の優先順位が一目で分かる！」AgriLook®（やまがた米づくりナビ）の「刈取適期マップ」をご活用ください。

詳細は最寄りの農業技術普及課にお問い合わせを！

■乾燥調製

- （1）乾燥機の送風温度を確認し、急激な乾燥や過乾燥とならないように注意しましょう。急激な籾の乾燥は胴割粒の発生要因となります。二段乾燥を行うなど、丁寧に乾燥しましょう。
- （2）籾すりを行う前には、必ず「試し摺り」を行い、肌ずれ、碎米、胴割れ、籾及び夾雑物混入等がないことを確認して連続作業に入りましょう。
- （3）選別は1.90mm網目（LL）（「雪若丸」は1.95mm（GL）推奨）の使用を基本とし、整粒歩合の向上を図りましょう。
- （4）白未熟粒や着色粒は色彩選別機等で取り除き、高品質米に仕上げて出荷します。

農作業事故と熱中症に十分注意してください！